



# 山北っ子

～やさしい子 考える子 がんばる子～  
山北小学校だより 第13号 文責 坂井ルミ



初めて(?)のもぐらうちを楽しむ1年生

山北小学校の大きな行事の一つである、「もちつき・どんどや」を16日（金）、17日（土）に実施しました。「どんどや」は、お正月飾りや書き初めを燃やしたり、お餅を焼いて食べたりして、無病息災・五穀豊穣を祈る行事です。これを学校で行っているところを最近は聞いたことがありません。初めて見る山北小「どんどや」のやぐらの規模に圧倒されました。今年は天気がよく、書き初めも天高く舞い上がって、とても縁起がいいなと感じました。また、保護者の皆様の子ども達を思う気持ちが強い繋がりをつくっていることを感じた瞬間でもありました。保護者の皆様の姿から人との繋がりの大しさを感じてほしいと願うばかりです。準備の段階からご協力いただいた皆様に感謝いたします。



ぺったん ぺったん 息もぴったり



高学年は慣れた手つきで丸めていきました



興味しんしんの眼差し

## 学年のまとめの時期

あっという間に1月が終わり、2月を迎えようとしています。学年のまとめの時期となりました。子どもたち一人ひとりが、この一年で大きく成長した姿を学校のあちらこちらで見かけるようになりました。どの学年の子どもたちも、毎日の授業に向き合う姿勢、友だちと協力し助け合う心、自分の役割に責任をもって取り組む姿勢、苦手なことからも逃げずにチャレンジするたくましさなど、それぞれに力を伸ばしてきました。

「当たり前前の毎日こそが成長の源」です。朝のあいさつ、授業中の姿勢、掃除や給食の時間、休み時間の過ごし方……。大きな行事だけでなく、こうした「日常の積み重ね」こそが、子どもたちにとってかけがえのない成長の場となっています。今の学年で得た力を土台にしながら、さらに成長できるよう、学校としても引き続き丁寧に見守っていきます。

### 小さなことをおろそかにしない

鍵山秀三郎

できそうにない大きなことばかりを追いかけるよりも、目の前小さなことを少しづつでも積み重ねていけば、とてつもなく大きな力になります。